



- ① 規律訓練
- ② 操法訓練
- ③ 消防車での広報活動
- ④ 住民への防災指導



活躍する女性消防団員

女性消防団員は全国で増加傾向であり、今後、ますます必要とされている存在です。

現在、鹿屋市消防団にも女性消防団員12人が入団。女性の持つソフトな面を生かし、地域での防災指導や広報活動などにおいて活躍しています。

このほか、火災現場での後方支援や操法訓練にも参加しています。



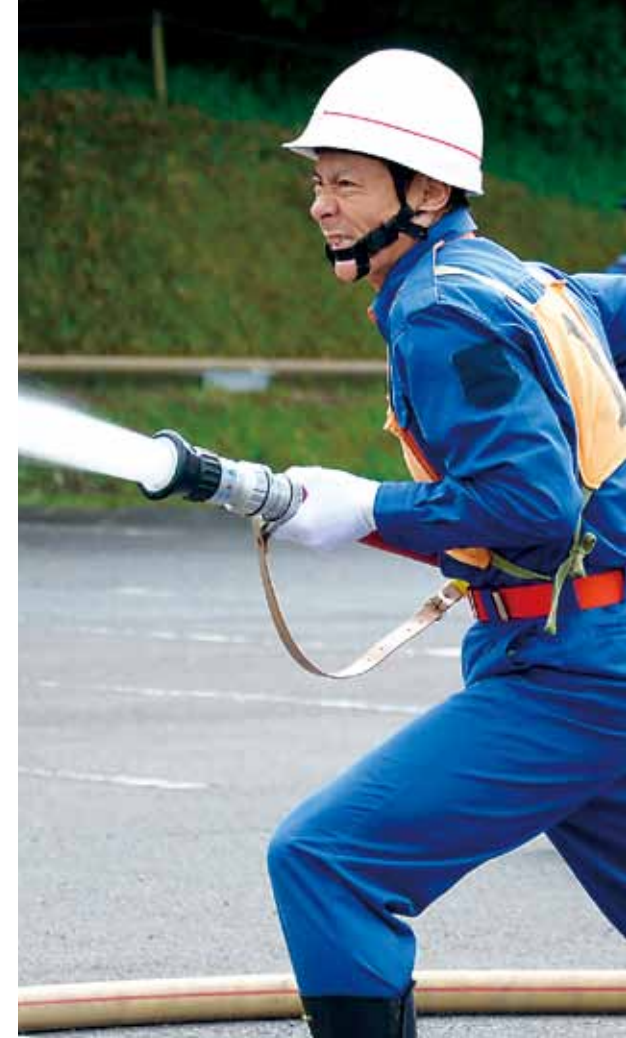
輝北中央分団
しげた ひさよ
重田 久代 さん

輝北町で婦人防火クラブの活動を続けながら平成25年8月に市消防団に入団。

現場での後方支援や広報活動などのほか、AEDの使い方など救命措置も学んでいます。入団後に火災予防への意識も大きく変化。小さな火災の予兆も見逃さないようにしています。



消防団活動の紹介



災害時の活動

- 1 消火活動

いち早く火災現場に駆けつけ、消火活動を行うことで被害を最小限に抑えます。鎮火後も再び発火しないように見張りを続けます。

夜を徹して見張りを続けることもあります。
- 2 救助活動

地震や水害など大規模災害発生時に、救助・救出・警戒・避難誘導などを行います。また、行方不明者の捜索活動も行っています。
- 3 水防活動

台風や集中豪雨によって河川の氾濫や浸水による被害が発生しないよう、土のう積みなどの防災活動を行います。

地域の災害軽減に全力を尽くします。

平常時の活動

- 1 防災啓発活動

地域住民の防災意識や地域防災力の向上を目的に、春と秋の火災予防週間などの広報活動を行っています。

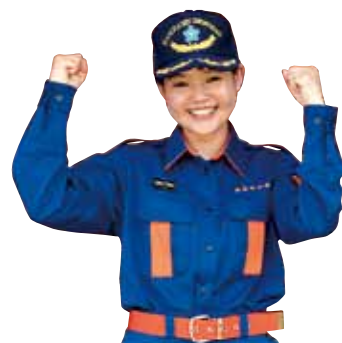
まずは災害を未然に防ぐことが、たいへん重要です。
- 2 住宅防火訪問

地域の各家庭を訪問し、防火の呼びかけ、消火器の点検などを行っています。
- 3 各種防災訓練への参加

消防団員は、市や地域が行う各種防災訓練に参加し、いざ災害が発生した時を想定し、危険箇所の点検、消防団の役割や活動内容などについて、日頃から訓練しています。

備えあれば憂い無し。

新人団員 Interview



中山分団
ふくおか あやの
福岡 綾乃 さん

身近に感じてもらえる消防団員に！

入団は平成27年1月。職場の防災担当の方から声を掛けられたことがきっかけです。消防団のことは知っていましたが入団するとは思ってもみませんでした。実際に入団してみると他の団員の皆さんがとても優しく気にかけてもらっています。活動は毎月1日に早朝訓練や操法訓練等があります。また台風等が発生した場合には、消防車で地域へ広報活動等を行い、災害発生時には出動しています。

私自身、入団してから日も浅く戸惑うことばかりですが、女性ならではの細やかな配慮のできる団員を目指し、皆さんからもっと身近に感じてもらえるよう、一つ一つの活動に取り組んでいきたいと思っています。



高齢者宅での訪問指導

新人団員 Interview



大始良分団
いわさき けんた
岩崎 謙太 さん

自分でも出来ることが、きっとある！

入団は平成26年9月。地域活性化のため、地元夏祭りの裏方として参加。その時に分団長から誘われたのがきっかけです。当時、消防団への入団に対しては自分自身、興味と不安が半分半分でしたが、幸い勤務先の理解を得ることもでき、地域のために役に立ちたい！との思いで入団しました。大始良分団では最も若手です。幸いにも、これまで火災現場への出動はありませんが、台風接近時

の広報活動や消火・規律訓練等を行っています。とにかく、今は先輩の行動を見て懸命に覚えています。

将来は地域の若者が、今よりも消防団に興味を持ち、入団しやすい環境を作っていきたいと思っています。



出初式に初参加